

古 典 紹 介 ・ 解 説

皇甫府君碑④

橋本 圭風

皇甫府君碑も丁度半分も過ぎ、この碑の特徴、用筆法等を学んで来ました。

今月は更に一歩進んで条幅作品へと挑戦してみましよう。半紙に四文字を書くのが条幅だと紙も長く大きく、だいたい一行目八文字、二行目六文字と字数も多くかなり抵抗があると思いますが、これも慣れと条幅の作り方のポイントを学べば大丈夫です。

何事も最初の一步を踏み出すことが大切です。行書、草書のように文字の大小、墨の潤渴をつけるのではなく楷書は字間が等間隔であることと文字の中心が取れていることが大事になります。

集字聖教序④

畠中 香風

「集字聖教序」の特徴もだいぶつかめてきた頃でしょうか。半紙で各字を正確に学んで次は条幅に挑戦してみましよう。

条幅では字形だけではなく文字の大小、文字の配置、行間・字間、墨の濃さ、墨量の変化、気脈の流れ等全体感が要求されます。書究誌に掲載されている院長の条幅作品を参考に、全体のポイントを捉え書き進めていきましょう。枚数を重ねていくうちに全体の流れがつかめてくることと思います。来月号ではいよいよ検定課題が発表になります。